

6月9日（水）に執り行われた、ロタ慰霊祭につき、ご報告致します。

1、日程及び概略

- 9：30 サイパン発 フリーダムエア ロタ行き
- 10：00 ロタ着（古川理事他計6名よりお出迎えあり）
- 10：30 日本人墓地にて清掃及び慰霊
- 11：20 サバナ高原・平和記念碑にて慰霊祭開始
- 12：00 慰霊祭終了～昼食
- 13：30 ロタリゾートへ移動し懇親談話会
- 16：30 空港到着
- 17：30 ロタ発
- 18：00 サイパン着・解散

当日は日本人墓地の清掃及び慰霊を行った後、サバナ高原の平和記念碑で行われるMVA主催の慰霊祭に参加しました。

日本人墓地の清掃・慰霊では、ロタ在住日本人の方々（古川理事を含む計6名ですが日本人会の会員ではありません）にもご参加いただいています。サバナ高原慰霊祭はMVA主催とあって、ロタのメイヤーオフィス、MVA等現地の方々も参加し、ロタ在住日本人の方々も加わって行われています。慰霊祭には、香川のこんびら宮より職員1名、巫女2名の計3名がご参加いただいております。厳かに、慰霊祭が執り行われました。こんびら宮の方々は今年で3年目のことで、ロタへ入る前にサイパン、テニアンでも慰霊を済ませてからロタに入ったとのことでした。その後は出発までロタリゾートにて懇親談話会を行い、帰路につきました。

2、実施状況

概略で説明の通り、日本人墓地清掃・慰霊では、サイパンより3名、ロタより6名の計9名の参加で実施されました。慰霊祭は、こんびら宮3名、現地ローカル10名、ロタ在住日本人10名、サイパンより3名の合計26名の参加で行われました。

3、費用

今回の慰霊祭はMVA主催となっており、移動のレンタカー、テーブルや椅子、昼食費用等は協力者による持ち出しとなっていました。そこで古川理事に対して、今回のサイパン参加者受入れ協力費として\$200をお支払いしています。

4、懸案事項等

理事会で懸案として挙げたロタ・ジャパニーズクラブについては、現地の親睦的な集まりとのことで、登記登録もなく、在住日本人の相互協力団体となっているようです。古川理事が代表としてとりまとめを行っています。ロタの日本人約20名の内10名程度が定期的に集まる組織のようですが、問題は無いと思われます。

逆に北マリアナ日本人会に対しては、ロタ在住者に対するメリットが無く、必要が無いと感じました。

ロタ在住者がサイパンへ行く際に困っている問題として、古川理事が挙げていたのは、

- ①交通手段の手配と費用
- ②宿泊手配と費用

であり、1回のサイパン行きで400ドル近い出費（航空券、レンタカー、ホテル）が発生するため、大変だとのことでした。

開催時期については、やはり6月（乾季中）が良いと思います。実はサバナ高原の標高はタボチョ山よりも高く、道路は整備されていますが未舗装のため、雨期に入ると平和記念碑まで行くことが難しくなるようです。また、こんびら宮一行も純粋な慰霊目的で来島されるため、そちらの日程を優先させるためにも、現在の6月開催となるようです。このような理由ですから、開催側の事情優先により、6月開催となることで構わないと考えます。

5、その他

ロタも景気悪化の影響を受けて、ビジネス環境は悪化し、厳しくなっているようです。こんなときだからこそ、ロタで必要としている支援がサイパンから提供できればと考えます。

例として

- ①情報発信
- ②ロタの会員向けにホテルやレンタカーなどの優待料金を設定などが挙げられます。

以前、ロタが台風で大きな被害を受けた際に、日本人会からロタのメイヤーオフィス宛に米を送ったことがあるようですが、その際、連絡がロタの理事に届かず、日本人会に米が届かなかったという話もありました。

ロタではメイヤーオフィスよりもMVAの方が民間の活動に協力的であり、古川理事はMVAに対し、毎年、個人的に寄付を行っているとのことでした。